

第五十二回帝國議會
衆議院

河川法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

河川法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和二年二月十八日(金曜日)午後一時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 神谷 彌平君

理事 加藤 知正君

黒田重兵衛君 傳田 清作君

小島 善作君 富永孝太郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務參與官 鈴木富士彌君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

内務書記官 岡田 文秀君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
河川法中改正法律案(政府提出)

○神谷委員長 前回ニ引續キマシテ是ヨリ開會致シマス——加藤知正君

○加藤委員 尙ホ二、三質問洩レノ所モアリマスルカラ御伺ヲ致シタイト存ジマス、大河津分水ノアノ二里二十町餘ニ互リマス間ニ於テ工事中ニ地ニリ等ガアリマシタ爲ニ、非常ニ其工事ガ遅レタヤウニ承ッテ居リマスガ、愈本年三月其分水工事モ完成シ、三月以後ハ維持、管理ト云フコトニナルヤウニ御伺ヲ致シマシタガ、ソレデ其維持管理ト云フコトニナリマスルト、今後ハ例ヘ地ニリ等ガアッテモ其工事ハ維持、管理ノ方ニ屬スルノデアルト云フコト

ナッテ居ナイ、此點ハ新潟市カラ苦情ヲ受ケテ居ル次第デアリマス、新潟港ハ初メ二十五尺ノ水深ヲ維持スル積リデアリマシタガ、今日尙ホ十七八尺ヲ保ッテ居ルニ過ギヌ、是非二十尺以上ニ浚深シテ維持シナケレバ相成ルマイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレニ付ケテモ土砂ハ成ベク持運バナイヤウニト云フコトガ一般ノ希望デアル、サウシナケレバ此水深ノ維持ハ出來マイト思ヒマス、而シテ此日和山ノ麓ガ缺ケテ行クト云フコトハ、是ハ技術上ノコトニナリマシテ、私モ此近所ヲ一寸視察シタコトモアリマスガ、技術者ニモ本當ノ事ハ能ク分ラナイノデアリマス、分ラナイガ承ル所ニ依リマス、御承知ノ西突堤、アノ突堤ガ大分長ク出テ居リマス、而シテ最近ハ西北ノ風ガ多カッタ爲ニ、其風ガ西突堤ニ打付カッテ、其波ガ廻ッテ日和山ノ麓ノ方ヲ洗フヤウナ勘定ニナリマス、ソレガ爲ニ山麓ガ缺ケルノデアラウト云フコトデアリマス、ズット以前カラノ平均ヲ取ッテ見マスト、此地方ハ西風ガ多イ、西風ガ多ケレバ寧ろ砂ヲ溜ル日和山ノ方ヘ持つテ行テ、却テ土砂ガ溜ルト云フ勘定ニナル、サウデス、最近ハ北西ノ風ガ多イ爲ニ、サウ云フ現象ガ起ッタノデアラウ、之ニ付キマシテハ防砂堤ヲ築イタリ、或ハ

デアリマス、ソコデ此分水工事ニ關聯シテ更ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、大河津分水ノ結果デアアルカドウカハ知リマセヌガ、新潟築港ノ方ニ當ル日和山ト云フ所ガ近年大分崩壞ヲ致シマスノデ、色々ノ風説ガ傳ハリ、アレハ海嘯ノ襲來スル前兆デアルトカ、或ハ地震ノ前兆デアルトカト云フヤウナ噂ヲシテ居ル者ガアルノデアリマス、無論ソレハ唯一片ノ噂ニ過ギナイコト、ハ思ヒマスガ、玄人筋ノ判斷ニ依リマス、是ハ大河津分水ノ結果、水勢ニ變化ヲ來シ、其爲ニ崩壞スルノデアルト云フ話デアリマス、ソレガ果シテ事實デアルトスレバ、此日和山ノ崩壞ニ對シテハ地ニト同様ニ大河津分水ノ維持管理ノ中ニ含マレテ修繕工事ヲ施サレノガ當然ト存ジマスガ、併シ全ク是ト切離サレ、縣ガ修繕工事ヲセナケレバナラヌコトニナルノデアリマセウカ、其點ニ付テ多少疑義ガアリマスノデ、政府當局ノ御所見ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○鈴木政府委員 日和山ノ御話デアリマスガ、大河津分水ガ出來マシテカラ、信濃川ノ本流ノ土砂ヲ持運ブコトガ幾ラカ少クナッタト云フコトハ事實デアアル、ソレデモ尙ホ多少土砂ヲ運ビマスノデ、從テ信濃川ノ河口ノ水深、即チ新潟港ノ水深ト云フモノガ豫定ノ如クニ

柵ヲ作ッタリシテ砂ヲ防グコトニ努力シテ居ル次第デアリマス、デ是ハ信濃川ノ維持費ト云フ方ニ加ヘテヤルコトニナルデアラウト存ジマスガ、今迄ハマダ加ヘテナイサウデアリマス、詳シイコトハ河川課長カラ申上ゲマスガ、今日迄ニ築イタ防砂堤及ビ柵ノ費用ハ信濃川改修費カラ出テ居ルサウデス、今後ノコトハモウ少シ風ノ模様ヲ見テ決シタイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 専門家ノ調査研究ニ依リマシテ、ドウ云フコトニナルカ分リマセヌガ、只今申上ゲマシタヤウニ、大河津分水ノ結果、水勢ニ變化ヲ生ジ、又其結果ガ日和山ノ土砂崩壞トナッタト云フコトニナリマス、是ハ當然信濃川分水工事竝ニ港灣工事等ニ關聯シテ居ルノデアリマシテ、ドウシテモ切離スコトノ出來ナイモノト思ハレマスシ、又此工事ヲ完全ニヤルニ付テハ餘程多額ノ費用ヲ要スルコト、考ヘマスルニ依テ、港灣ノ維持管理ニ附屬シテ居ルモノト御認メニナリマシテ、完全ナル防禦工事ノ出來マシヤウ御配慮ヲ御願致シテ置キマス、其次ニ伺ヒタイノハ、此大河津分水ノ出來マシタ結果、長野縣方面カラ流れ來ル土砂ハ自然大河津分水ノ方ヘ落チテシマヒ、大河津分水以下新潟ニ至ル十四里ノ間ニアル所ノ土

砂ハ、自然新潟築港ニ入ルモノト見ナケレバナラヌ、サウスルト勢ヒ港内ガ浅クナリマシテ、折角深ク致シタ港内モ昔年ナラズシテ元ノ淺瀬ニナツテシマフト云フ恐レガアルデアラウト云フ

米ダケノ土砂ト云フモノヲ取拂フト云フ計算ニ致シマシテ、是ダケノ費用ヲ勘定シテ居ル次第デゴザイマス

マヌル五十八萬四千二百六十七圓ト云フモノハ、公式ニハ御交渉ハナクトモ非公式ニ御話ハアッタモノデ、知事ハ既ニ之ヲ諒解シテ居ルモノト承知シテ宜シウゴザイマス

タ、故ニ飯田新田ノ方デハ塚本新田ヲ更ニ貫通シテ元ノ耕地整理ノ排水樋管ノ所ヘ流サウト云フヤウナ今ハ計畫ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ付テ妙ナ事柄ヲ私ハ聞イタ、飯田新田ノ水ハ飯田新田ニ排水樋管溝ヲ拵ヘテ流スベキ所ヲ、此地方ニ於テ政黨ノ重鎮ガ黒山村ノ内務省ノ出張所ノ所員ニ、或ハ相談ヲシタノデアアルカ、或ハ歎願ヲシタノデアアルカ、或ハ縣ノ方ヘ歎願ヲシタノデアアルカ、相談ヲシタノデアアルカ、忽チニ飯田新田ニ敷設スルト云フヤウナ樋管ハ廢シテシマツテ、サウシテ塚本新田ヲ貫通シテ元ノ圓城寺ト云フ所ニ在ル排水樋管ノ所ニ結著ケヤウト云フ計畫ヲ立テテ居ル、之ガ爲ニ塚本新田ノ住民ハ更ニ新シク立派ナ地所ヲ掘鑿サレルヤウナ場合、殊ニ耕作上ニハ不便ヲ來シ、一朝洪水ガアル場合ニハ塚本新田ダケハ洪水ヲ被ルヤウナ場合ニ立至ラントスルヤウナ譯デアアルガ、是ニ於テ内務省トシテ更ニ此樋管ノ新設ト云フコトノ許可ガ出來ルナラバ、此爭ト云フモノハ忽チニ消エテシマフトデアリマスガ、飯田新田ノ惡水排水ハ飯田新田ノ方面ニ樋管ヲ拵ヘルト云フ御考ガアルダラウカナイダラウカ、此問題ニ付キマシテハ縣ノ方ニ聞イテ見ルト云フト縣ノ方デハ私ノ方ノ仕事デハナイ、是ハ内務省ノ仕事デアルト言ツテ居ル、又南古谷ニ在ル所ノ河川事務所ニ行ツテ聞イテ見ルト云フト、ソ

砂ハ、自然新潟築港ニ入ルモノト見ナケレバナラヌ、サウスルト勢ヒ港内ガ浅クナリマシテ、折角深ク致シタ港内モ昔年ナラズシテ元ノ淺瀬ニナツテシマフト云フ恐レガアルデアラウト云フノデ、心アル者ハ深ク之ヲ心配シテ居ルノデアリマス、勿論此事ハ只今ノ政府委員ノ御言葉ノ中ニモ能ク現ハレテ居ルノデアリマスガ、今度此御計上ニナリマシタ十八萬幾ラト云フ費用ハ矢張ソレ等ノ土砂ヲ浚渫スル所ノ費用トカ、或ハ新潟築港ノ中ニ這入リマスモノヲ這入ラナイヤウニ致ス所ノ費用ト云フヤウナモノモ、皆當然含マレテ居ル事ト思フノデアリマスルガ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ、參考ノ爲ニ一應御伺申シタイノデアリマス

○加藤委員 此信濃川維持費年度割表ヲ拜見致シマス、昭和二年度カラ六年度ニ至ル迄ノ間ニ於テ、九十三萬五千九百八十圓、其内事務費ト工事費ト二ツニ別レテ居リマシテ、更ニ金額ノ負擔割合ガ茲ニ計上サレテ居リマス、之ヲ拜見シマス、九十三萬五千九百八十圓ノ内、三十五萬一千七百十三圓ガ國庫カラ支辨サレテ、殘ル五十八萬四千二百六十七圓ハ、是ハ新潟縣ガ負擔セナケレバナラヌ事ニナツテ居リマス、自分ノ縣ノ事ヲ御問スルノモ甚ダオカシイ事デアリマスケレドモ、ツイ餘リ注意シテ居リマセヌデ御尋申上ゲルノデアリマスガ、主務省カラ新潟縣ヘ對シ、大正十六年即チ昭和二年度以後向フ五ヶ年間々々十一萬六千八百五十四圓ト云フ金額ヲ負擔スルヤウニ、非公式的ニデモ既ニ御話ガアリマシテ、縣デハ之ヲ負擔スル事ニ承知シテ居ルノデアリマス、一寸參考マデニ御伺致シテ置キマス

○鈴木政府委員 是ハマダ公ニハ地方廳ニ交渉シテナイサウデアリマス、是ガ決リマスレバ法律ニ依ルモノデアリマスカラ、自然其趣デ交渉ヲヤル次第デアラウト思ヒマス

○加藤委員 左様デゴザイマス、知事ハ承知シテ居ル譯デアリマス非公式ニ...

○鈴木政府委員 只今加藤サンノ御質問ニ對シテ御答致シマスルガ、信濃川維持費トシテ今回計上致シマシタ金ノ中、大河津分水附屬物維持ニ費ス金ハ、實ハ餘リ多クナイノデアリマス、河口維持ニ費ス金ガ約十四萬バカリニナリマス、此金ハドウ云フ事ニ入用ダト申シマス、一番多クノ費用ヲ要スルノハ浚渫費デアリマス、御説ノ通り信濃川ノ土砂ヲ取拂フ爲ニ費ス所ノ費用デゴザイマシテ、之ニ凡ソ九萬圓バカリ掛ル譯デアリマス、然ラバドレ丈ケノ土砂ガ出テ來ルカト云フコトニナルト、其計數ハ實ハ分ラナイノデス、分ラナイガ浚渫スルノハ少クトモ七十二萬立方

○加藤委員 サウシマス、是カラ昭和二年度以降五ヶ年間ニ新潟縣ノ負擔シ

○小島委員 此場合簡單ナ質問ヲシテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ荒川改修工事ニ伴フ工事ノ問題デアリマスガ、荒川改修ハ第一期トシテ埼玉縣ノ北足立郡馬宮村及入間郡ノ南古谷村マデ出來テ居ルヤウデアリマスガ、此荒川改修ニ付テ新堤ガ出來ルト同時ニ、北足立郡ノ飯田新田ト云フ所ト、大久保村塚本新田ト云フ所ニ新堤ガ更ニ出來ル、サウスルト云フト今迄ノ舊イ堤防ヨリモ更ニ東ノ方面ニ寄ツテ新堤ガ造ラレタ爲ニ、飯田新田竝塚本新田ノ耕地整理地區ハ改修地ニ取ラレシマヒ、今日ハ殆ド無ナッタヤウナ場合ニナツテ居ル、然ル所、上流ノ方ノ飯田新田ノ耕地整理ヲシタ所ノ惡水ト云フモノハ、勢ヒ下流ノ方ノ塚本新田ノ地内ノ方ニ流サナケレバナラナイヤウナ場合ニナツテ居リマス、然ルニ耕地整理ノ地區ハ全部買収サレテシマッタノデアアルカラ、元ト耕地整理ヲシテ排水溝ガアッタノガ、ソレガ全然無クナツテシマツ

タ、故ニ飯田新田ノ方デハ塚本新田ヲ更ニ貫通シテ元ノ耕地整理ノ排水樋管ノ所ヘ流サウト云フヤウナ今ハ計畫ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ付テ妙ナ事柄ヲ私ハ聞イタ、飯田新田ノ水ハ飯田新田ニ排水樋管溝ヲ拵ヘテ流スベキ所ヲ、此地方ニ於テ政黨ノ重鎮ガ黒山村ノ内務省ノ出張所ノ所員ニ、或ハ相談ヲシタノデアアルカ、或ハ歎願ヲシタノデアアルカ、或ハ縣ノ方ヘ歎願ヲシタノデアアルカ、相談ヲシタノデアアルカ、忽チニ飯田新田ニ敷設スルト云フヤウナ樋管ハ廢シテシマツテ、サウシテ塚本新田ヲ貫通シテ元ノ圓城寺ト云フ所ニ在ル排水樋管ノ所ニ結著ケヤウト云フ計畫ヲ立テテ居ル、之ガ爲ニ塚本新田ノ住民ハ更ニ新シク立派ナ地所ヲ掘鑿サレルヤウナ場合、殊ニ耕作上ニハ不便ヲ來シ、一朝洪水ガアル場合ニハ塚本新田ダケハ洪水ヲ被ルヤウナ場合ニ立至ラントスルヤウナ譯デアアルガ、是ニ於テ内務省トシテ更ニ此樋管ノ新設ト云フコトノ許可ガ出來ルナラバ、此爭ト云フモノハ忽チニ消エテシマフトデアリマスガ、飯田新田ノ惡水排水ハ飯田新田ノ方面ニ樋管ヲ拵ヘルト云フ御考ガアルダラウカナイダラウカ、此問題ニ付キマシテハ縣ノ方ニ聞イテ見ルト云フト縣ノ方デハ私ノ方ノ仕事デハナイ、是ハ内務省ノ仕事デアルト言ツテ居ル、又南古谷ニ在ル所ノ河川事務所ニ行ツテ聞イテ見ルト云フト、ソ

ンナニ愚圖、言フナラバ河川法ニ依テ引イテシマント云フヤウニ威壓シテ居ルヤウニ聞クノデアル、今ハ塚本新田ト飯田新田ノ人達トハ非常ナル争ヲ生ジテ居ルヤウナ場合デアリマス、是ハ私共ノ考ニ依ルト、飯田新田ノ惡水ハ飯田新田ニ機關ヲ新設シテ排水スルト云フコトガ相當デアラウト思フ、若シ内務省ニシテ機關ヲ新設スルコトガ出來得ナイト云フコトデアラナラバ、僅カ一年カ二年前ニ矢張改修工事トシテ下流ノ園城寺ト云フ所ニモ更ニ新シイ機關ヲ新設シテアル譯デアアル、斯ウ云フ風ニ園城寺ニモ新設ガ出來ルナラバ飯田新田ニモ排水機關ノ新設ガ出來ナイ筈ハナカラウカトモ思ヘル、然ルニ内務省トシテハ假令此現狀ハ見ルニ忍ビナイトシテモ、内務省ノ方針トシテ機關ヲ新設スルコトハ出來ナイ、愚圖、言ヘバ河川法ニ依テ之ヲ執行シテシマフト云フコトヲ、南古谷ノ河川事務所長ハ言フテ居ルト云フコトデアアル、既ニ此問題ハ其土地ノ塚本新田ノ住民カラ内務省ノ方ヘモ陳情書ガ出テ居ルト云フコトデアリマス、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 大分詳細ニ互リマシタ質問デ、是ハ技術者デナケレバ分リマセズデスガ、唯有力者ノ壓迫ニ依テ云々ト云フコトハ決シテナイコト、御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホソレ等ノ詳シイコトハ此處ニ河川課長ガ

居リマスカラ、御答辯申上ゲルコトニ致シマス

○岡田河川課長 御尋ノ點ハ荒川改修ノ附帶工事ニ關スル問題デアリマスガ、御承知ノヤウニ荒川上流改修ハ現ニ工事ヲヤリツ、アリマスガ、サウ云フ附帶工事ノ點ニ付キマシテハ、工事ノ進捗ニ連レマシテ川ノ狀態等ヲ能ク研究ヲシテ決定致シマスノデ、其問題ハ多分今日マダ出張所ニ於テ色々研究中デアラウト考ヘマス、隨テマダ本省ノ方デハ出張所ノ決定シタ意見モ聽イテ居ラヌヤウナ譯デアリマスガ、十分其處等ノ點ハ研究ヲシテスルヤウニシタイト思ヒマスガ、現在ハ尙ホ研究中ニアルコトダト考ヘマス

○小島委員 只今研究中ニアルト云フ御話デアリマスシ、又河川ヲ改修スルノニハ研究云々ト云フ御話デアリマスガ、實際ニ於テ若シ研究ヲヤッタノダトスルナラバ、此三字ノ惡水ト云フモノハ、モウ少シ此新堤ヲ東ノ方ニ凡ソ二日間程寄セテ造ラレタナラバ、此三字ノ惡水ハ一ツノ機關デ間ニ合フモノダト思ヘル、此點カラ見マスト御研究ノ程度ガ足りナカッタノデハナカラウカトモ考ヘルコトガ出來ルノデアリマスガ、兎ニ角現在塚本新田ト云フ所ニ行ッテ見マスト、飯田新田カラ塚本新田ニ穿鑿スベク内務省ノ杭ハ打ッテアルヤウデアリマス、サウスルト其處ヲドウシテモ貫通スルコトニナルラシイ、ソ

コデ塚本新田ノ住民ハ非常ニ驚イテ、種種ナル方面ニ陳情モシ、嘆願モヤッテ居ル、場合ニ依テハ飯田新田ノ住民ト争ヲ今生ゼントスルヤウナ場合デアアル、實際ニ於テハ斯様な狀態デアリマスガ、併シ内務省ノ方ヲ信ズルナラバ、是ヨリ御研究ノ上ト云フ御話デアリマスルカラ、ソレハ現在杭ヲ打ッテアルノハ唯嚇カシニヤッタノデアアル、今後更ニ研究ノ上ニ最モ妥當トスベキ所ヲ發見シテ、機關ヲ御新設ヲ致サレルト云フ御意見デアリマスガ、一應伺ヒタイ

○岡田河川課長 測量ヲ致シテ杭ヲ打ッテアルト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ、マダ本省ニハ出張所ノ意見モ確定シタコトハ出テ居ラヌヤウナ見モ確定シタコトハ出テ居ラヌヤウナ譯デアリマスカラ、尙ホ今後或ハ變更スルヤウナコトモアルカモ知レナイノデ、嚇カシノ爲ニシタト云フヤウナコトハ決シテナイダラウト思ヒマス

○小島委員 分リマシタ

○神谷委員長 ソレデハ小島サンソレデ宜シウゴザイマスガ

○小島委員 是デ宜シウゴザイマス

○神谷委員長 私ヨリ一言御質問申シタイト思フテ居リマスガ、本河川法ハ近キ將來ニ於テ改正スルノ御意思ガ政府ニアルヤ否ヤト云フコトデアリマス、此河川法モ大分舊クモナッテ居リマスカラ、時代ニ適應シテ居ルカト申シマスレバ、チト不備ノ點モ随分アラウト存ズルノデアリマス、河川法ト云フモ

ノニ對シマシテハソレ、各關係官省モ調ヲ有シテ居ル次第アルガ故ニ、是等ヲ打ッテ一丸トシタル所ノ大河川法ナルモノ、御提案——御改正ヲスルヤウナ御意思ガアルヤ否ヤト云フコトヲ一應伺ッテ見タイト思ヒマス

○鈴木政府委員 御尤ナ御意見デゴザイマス、此河川法ハ二十九年ノ制定デ可ナリ舊イノデアリマシテ、各方面ニ改正ヲ要スル事項モアルヤニ思ヒマス、從テ是ガ調査ニハ從事致シテ居ルノデアリマスガ、關係ノ方面ガ廣イノデ、他ノ省トノ聯絡ヲ取ッテ色々意見ヲ定メナケレバナラヌコトモアリマスノデ、マダ其運ビニ至ラナイノデアリマス、實ハ内務省ニハ港灣ニ關スル法規モナイノデ、港灣法モ設ケナケレバナラヌノデアリスケレドモ、是モ其運ビニ至ラナイノデアリマス、河川法モ銳意調査ニハ從事致シテ居リマスカラ、何時ト云フコトハ申上ゲラレマセヌケレドモ、將來改正スル時期ガ必ズアルコトト信ジマス

○神谷委員長 是ニテ質疑ヲ終了致シマシテ御異議ゴザイマセヌデスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○神谷委員長 御異議ガナケレバ質疑ヲ終了致シマス、續イテ討論ニ入リタイト思ヒマス

○加藤委員 此度御提案ノ河川法改正法律案中、第五十八條中ノ改正事項、第六十六條ノ削除ハ當然ノ事デ、何等疑

義ノ存スル點ヲ見出シマセヌガ、唯第六條中「但シ」ノ下ニ「主務大臣カ自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモノニ付必要ト認ムルトキ又ハ」ヲ加フ、是ガ頗ル疑義ノ存スル事項デアリマシタ爲ニ、大分委員會モ重ネラレタヤウナ次第デアリマス、又政府委員ノ御陳述ヲ伺テ見マスルト、只今ノ所デハ改正條項ハ信濃川大河津分水工事ノ爲ニ、特ニ此改正案ヲ出サレタノデハアルマイカト云フヤウニ吾々ニハ感ゼラレマスノデ、私共ハ我縣内ノ事デモアリマス故、念ニ念ヲ入レテ何同トナク質問ヲ申上ゲタノデアリマスガ、政府委員ニ於カレテハ洵ニ懇切周到ニ御答辯下サリマシテ、本員ハ深ク茲ニ感謝セザルヲ得ザル次第デアリマス、併シ私ガ餘リニ質問ヲ致シマシタノデ、加藤ハ反對デハナイカナドト云フ風ニ一時誤解ヲ頂キマシタコトハ深ク遺憾ト致シマス、私ハ苟モ疑義ノ存スル以上ハ、假令ソレニ贊成デアリマシテモ、何所マデモ之ヲ質シテ、十分了解ノ出來タ所デ贊成ヲスルノガ當然吾々ノ職務ト心得マシテ質疑ヲ致シタ次第デアリマスカラ、政府當局ニ於テモ其意ヲ諒トセラレ、今後吾々ガ如何ニ質問致シマシテモ、質問即反對ト御考ヘナサラズ、虚心坦懷ニ御答辯アラシコトヲ豫メ希望致シテ置キマス、ソコデ私ハ此改正法律案ニハ双手ヲ舉ゲテ贊成ヲ致スパカリカ、寧ロ政府當局ニ向ッテハ此法律案ノ

改正ニ對シ謝意ヲ表シタイト思フ位デアリマス故、其理由ヲ聊カ茲ニ述ベサシテ頂キタイト思フノデアリマス、私ガ茲ニ申上ゲルマデモナク、信濃川ハ全國第一ノ大河デアリマシテ、其流域面積ハ七百九十五方里、流路延長ハ幹川ノミデモ九十四里、之ニ支川ヲ合セマスト九百八十一里ト云フ、實ニ全國第一ノ名ニ背カザル大河デアリマス、ダガ此河ノ爲ニ新潟縣下デハ、年々容易ナラヌ洪水ノ被害ヲ受ケテ來ノデアリマシテ、永年地方民ハ枕ヲ高ウシテ眠ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、而シテ政府ガ之ニ深ク同情ヲ寄セラレ大河津ニ分水工事ヲ企畫セラレマシタノガ、明治四十年デアリマシテ、ソレ以來二十年ノ歲月ヲ費シ、二千二百二十五萬一千餘圓ト云フ莫大ナル費用ヲ投ジ漸ク出來上ツタノガ此二里二十町餘ニ互ル分水工事デアアルコトハ申上ゲルマデモナイ次第デアリマスガ、是ガ目出度完成致シマシタ爲ニ、昨年ノ如キハ七八月ノ交ニ於テアレホドノ大洪水ガアリマシテモ、信濃川ノ爲ノ洪水ト云フコトハ見ナイデシマッタノデアリマシタ、勿論是ハ信濃川ノ上流ニ於テ雨量ガ左程デナカッタト云フコトモ大ニ關係致シテ居リマセウガ、併シ大河津ノ分水ト云フモノガナケレバ、下流ニ於テ幾何ノ慘狀ヲ呈シタデアラウカト云フコトハ、今カラ想像スルダニ戰慄ヲ禁ジ得ザル次第デアリマス、ソレガ今

申上ゲタヤウニ大洪水ノ悲惨ヲ信濃川沿岸ニ於テ見ズニ濟シタト云フコトハ、畢竟大河津分水ノ御蔭ト吾々縣民ハ感謝シテ居ルノデアリマスガ、併シ大河津分水工事ガ出來上リマシテモ、尙ホ之ニ附帶シテ居ル工事ガ随分殘ツテ居ルバカリデナク、今後ニ於ケル維持管理ト云フコトハ頗ル至難デアアルカラ、到底縣ノ力デハ爲シ得ナイト云フノデアリマス、ソレ故政府ハ之ヲ地方廳ニ昭和二年度カラ移スノガ當然デアルケレドモ、之ヲ地方廳ニ任カサズニ主務省ニ於テ管理シ、本工事有終ノ美ヲ全ウシタイト云フ所カラ第六條ノ修正事項ヲ御出シニナツタト云フコトヲ伺ヒマシテ、如何ニモ尤モ千萬デアアルト思フノデアリマス、此大河津分水ニハ先刻申上ゲタ如ク、先年非常ナル地ニリガアリマシタガ、今後若シアリマシテモ縣デ修繕スルナド、云フコトハ、到底其任ニ堪ヘナイコトデアアル、又先刻御同申上ゲマシタ日和山ノ崩壊、是モ分水工事ノ結果カドウカハ知リマセヌケレドモ、中々容易ナラヌコトデアラウト思ヒマスガ、是等モ維持管理ノ中ニ於テ其工事ヲ施シテ下サルヤウナ御話デアリマスカラ、是非共縣民トシテハ御願ヲシナケレバナラヌコトデアリマスシ、又之ヲ縣ガ引繼イデ見マシタ所デ、満足ノ結果ヲ得ルコトハ困難デアアル、又其費用ヲ縣ガ負擔シ切レズニ國家ニ向ッテ補助ヲ申請致シマシタ

所ガ、補助ニ關スル規程ノナイ以上ハ其補助ガ果シテ得ラレルカドウカト云フコトモ、頗ル疑問ニナルノデアリマシテ、如何ナル方面カラ見マシテモ、大河津分水工事ノ管理ヲ縣ガ引受ケタ處デ縣トシテ其任ニ堪ヘナイコトハ明瞭デアリマス、河川法ノ原則カラ申シマスレバ、利害關係ガ二府縣ニ跨ッテ居ルトカ、河川ガ行政區劃ノ境域ニナツテ居ル場合ニハ、直接國ガ管理シ、一縣内ノ利害關係ニ止マル河川ノ管理ハ其縣ニ於テヤラナケレバナラヌコトニナツテ居リマスガ、併シ斯ウ云フヤウナ東洋ニハマダ其例ヲ見ナイ大工事ハ到底其縣ノ力デハ管理爲シ得ヌト云フ所カラ、此度此改正法律案ヲ御提案ニナツタト云フコトヲ詳細ニ伺ヒマシタノデ、吾々新潟縣民トシマシテハ政府當局ニ對シ滿腔ノ謝意ヲ表ス茲ニ双手ヲ舉ゲテ贊成スル次第デアリマス

○神谷委員長 他ニ御意見ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○神谷委員長 御意見ガナケレバ採決ヲ致シマス、本案ニ御贊成ノ諸君ノ舉手ヲ望ミマス

「贊成者舉手」

○神谷委員長 全會一致本案ハ可決サレマシタ、是デ散會致シマス

午後二時二分散會

衆議院河川法中改正法律案委員會議錄
第四回中正誤

頁	段	行	誤	正
一	二	八	二期	二次
同	同	同	臨時施設	臨時治水
同	四	一六	四年	四年度

昭和二年二月十九日印刷

昭和二年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社